

JQ医療安全管理者 養成研修

2025年度 開催のご案内



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

Concept

学びを続けよう

いつでも。
どこからでも。
何度でも。

医療安全に初めて関わることになった皆さん、
何から始めればいい？ 何を勉強をすればいい？
どこで学べればいい？ 忙しいのに、勉強を続けられるかな？
そんなお悩みをお持ちではありませんか？

その声、評価機構が受け止めます

医療安全の確かな土台をつくる



本研修は、初めて医療安全にかかわる方が学べきテーマを網羅したまさに“決定版”。

これまでの医療安全を担ってきた先駆者たちの知恵と経験、これからの医療安全を見通す次世代リーダーたちの視点、実践を下支えする専門家の理論と最新の知見、豪華な講師陣がハイクオリティな講義を展開します。

多職種連携による医療安全を実現する



多職種が連携して医療安全を一。

修了者の皆さんが、一人だけ／部門だけ／病院だけ...、“だけ”で完結しない医療安全をめざしていただくため、講義では部門や病院の垣根を越えた事例を紹介しています。

ずっと学び続ける、はじめの一步



この研修はe-learningを活用しますので、多忙な方でも自分のペースで学べます。質問も、いつでも受け付けています。

さらに、修了者の皆さんには、評価機構が提供する学びの場をご案内します（一部有料）。

受講中はもちろん、修了後の「学びたい」に応え続けます。

学びを続けるための
機会と場を提供します



3つの特長

本研修はe-learningを主体としており、多忙な医療者でも無理なくご受講いただけます。

1 医療安全を深く・広く

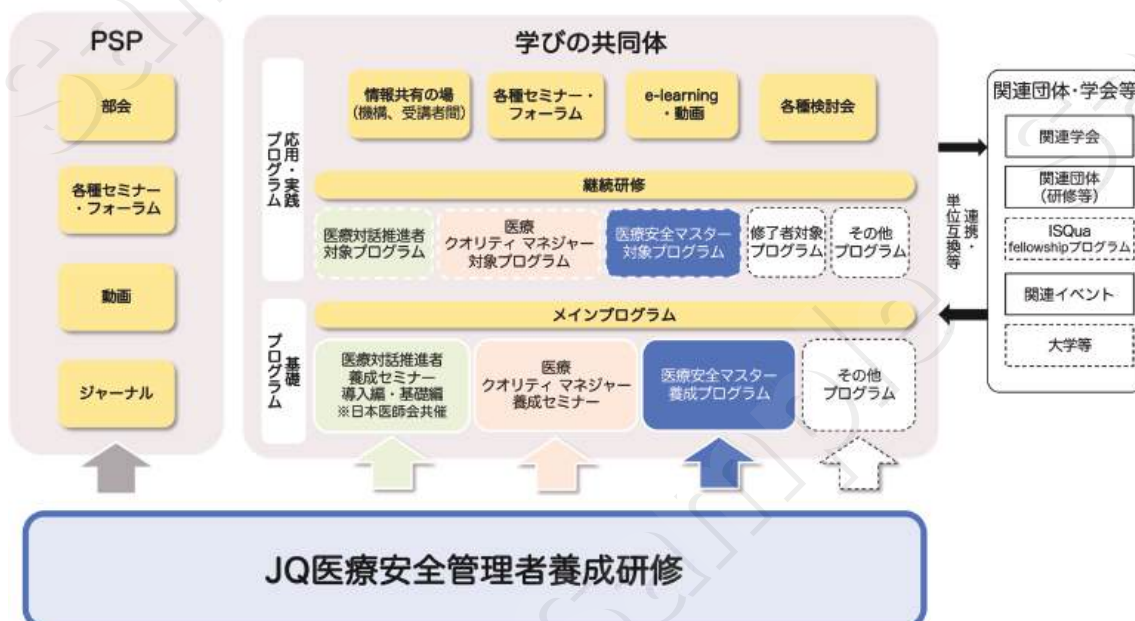
講義では、受講者が医療安全管理者としてすぐに活躍できるよう、業務で必要となる基礎知識はもちろん、長く生きる考え方や実践のためのノウハウを学べます。初めて学ぶ方の、確かな土台をつくります。

2 ご都合の良い時間に

e-learningで39科目(動画として35時間程度。他、理解度確認テストあり)を提供します。時間と場所を選ばず、興味のある科目から受講をスタートできます。質問もオンラインでいつでも受け付けています。

3 さらに学ぶ場との連携

修了者は、学びを継続する場として、評価機構が提供する動画シリーズ・各種セミナー・教育資材等にアクセスできます(一部有料)。今後もサービスを拡充してまいります。



ご受講にあたって



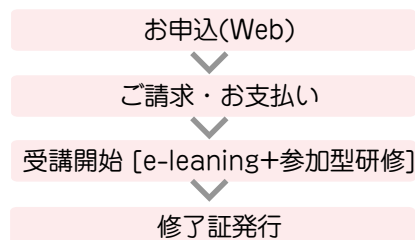
研修は個人受講・団体連携のいずれかの方法でご受講いただけます。
お申し込みはWeb、お問い合わせはメールもしくはお電話から[裏表紙]。

① 個人受講

① e-learning [35時間] ② 参加型研修 [6時間]

- 医療安全を学びたい個人の皆様にe-learningと参加型研修をセットで提供します。
- 受講者は指定期間内にe-learningと参加型研修（評価機構主催）を受講し、全課程を修了された方に修了証を発行します。
- 本研修は、診療報酬「医療安全対策加算」算定要件内の「医療安全対策に係る適切な研修」に該当します。

費用：認定病院にご所属の方 66,000円（税込）
上記以外にご所属の方 99,000円（税込）
受講期間：① e-learning 約3か月間
② 参加型研修 1～2日間



② 団体連携

e-learning [35時間]

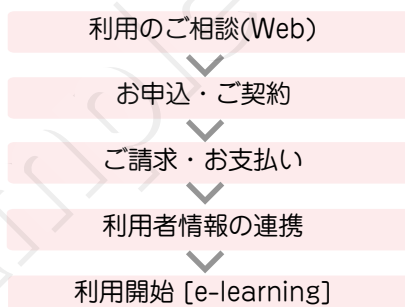
- 標準化された本研修内容を活用して、職員教育や研修事業等を実施したい団体にe-learningプログラムを提供します。
- 団体には管理者アカウントが付与され、団体内受講者の学習履歴を管理できます。
- 団体は独自に実施する参加型研修等と組み合わせて、修了証等を発行できます。

費用：1ID 44,000円（税込）

（標準費用を示します。利用者数、利用期間により異なります。）



団体連携向け限定のサービスとして、
本e-learningプログラムをベースにした
・参加型研修の企画サポート
・講師紹介
といったご相談にもお応えします。
ご要望をお気軽におきかせください。



この研修で学べること

医療安全の過去・現在・未来

今の医療安全をつくり上げてきた先駆者たちを講師に招き、忘れてはならない「医療安全元年」を起点に過去を振り返ります。医療者が自ら努力を重ねつつ、時に社会からの要請を受けながら医療安全が制度化され体系化されていく過程を学びます。私たちがなぜ学ぶのか、何を学ばなければならないか、しっかり向き合います。

そして、未来を見すえて新しい技術や理論をさっそく実践に落とし込んでいる旬のリーダーたちに、これからの医療安全をたっぷり講義していただきました。

もちろん、今、押さえておくべき制度や理論もしっかり網羅しています。業務の基礎知識を習得できるだけでなく、学びや実践のモチベーションアップにもつながります。

異分野の知見、学問としての愉しさ

医療安全を現場で推進するにあたって、医療から離れた分野の知識や知見も理解しておく必要があります。一見すると「これも医療安全?」「難しい...」と思うテーマについても、第一線の講師にわかりやすく解説いただきました。

学ぶ愉しさを感じていただける、知的好奇心を満たすテーマを用意しています。

企画者から

医療安全研修の「決定版」！

本研修は2020年3月改定「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に準拠して企画しています。
加えて、さらに広い視野と深い知識を身に付けたい方の要求にも自信をもってお応えします。



※個人受講の場合[e-learning+参加型研修]は、「医療安全対策加算」にも対応しています。

① e-learningで学ぶ



- e-learningで39科目を学びます[右表]。
- 講義動画を視聴した後（合計35時間程度）科目毎に用意された確認テストを受けます。
- 講師・事務局への質問はメール・電話で受け付けています。
- 受講期間内であれば何度でも繰り返し視聴いただけます。



② 参加型研修で学ぶ



- 個人受講の場合、参加型研修を評価機構が実施します。研修ではグループワークや演習を中心に行います（合計6時間）。
- オンラインもしくは対面で実施します。

※ 団体連携の場合、団体が参加型研修を実施します。

本研修のe-learningで学べる科目

（敬称略）

①医療安全の基本的知識

医療安全概論

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1 医療安全学概論 | 橋本 迪生 |
| 2 医療安全この20年～医療は本当に安全になったのか | 長谷川 剛 |
| 3 医療安全確保のための施策・制度の概要～世界の潮流とともに | 後 信 |

他分野から考える「安全」

- | | |
|---------------------|-------|
| 4 真に効果のある安全確認とは | 田中 健次 |
| 5 患者安全におけるFMEA手法の活用 | 田中 健次 |

②安全管理体制の構築

安全確保のための体制づくり

- | | |
|-------------------|-------|
| 6 医療安全管理者に期待される役割 | 長谷川 剛 |
| 7 チームステップス | 辰巳 陽一 |
| 8 医療安全ラウンド | 栗原 博之 |

③医療安全についての職員に対する研修の企画・運営

- | | |
|-----------------------------|--------|
| 9 成人学習の基礎～その重要性と方法論について | 小諸 信宏 |
| 10 院内研修の実施と評価① | 小諸 信宏 |
| 11 院内研修の実施と評価②～ファシリテーションの基礎 | 猶本 良夫 |
| 12 KYTの実践と職場導入のポイント | 細川 香代子 |
| 13 5S活動の基本～医療現場での実践と効果 | 細川 香代子 |

④医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価

事例分析理論と実践

- | | |
|-----------------------|-------|
| 14 事例分析概論～事故の再発防止に向けて | 楠本 茂雅 |
| 15 事例分析の実践 | 楠本 茂雅 |

情報の収集と活用

- | | |
|------------------------------|-------|
| 16 医療事故情報収集等事業～事例検索システムとその活用 | 坂口 美佐 |
| 17 インシデント・アクシデント情報の有効活用 | 楠本 茂雅 |

⑤医療事故発生時の対応

医療事故調査制度

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 18 医療事故に関する法律の基礎知識～医療安全に関わる裁判例から学ぶ | 横田 重信 |
| 19 医療事故調査制度 | 横田 重信 |

事故後の対応

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 20 事故後の対応初動と院内対応 | 長谷川 剛 |
| 21 コンフリクトマネジメント概論～患者・家族とのコミュニケーションと連携 | 荒神 裕之 |
| 22 有害事象発生後の対応と医療者ケア～医療者側のケアのあり方 | 荒神 裕之 |

⑥安全文化の醸成

組織に安全な文化を醸成する

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 23 レジリエンスエンジニアリングと医療～医療安全への実装 | 中村 京太 |
| 24 倫理的な安全、安全のための倫理 | 荒神 裕之 |
| 25 心理的安全性という考え方 | 長谷川 剛 |

各領域における医療安全の実践

- | | |
|--------------------|--------|
| 26 医薬品管理と医療安全 | 菅野 浩 |
| 27 医療機器の管理と医療安全 | 皆川 宗輝 |
| 28 臨床検査と医療安全 | 浅井 さとみ |
| 29 手術部門における安全 | 菊地 龍明 |
| 30 施設・環境・設備による安全 | 寛 淳夫 |
| 31 高齢者・認知症のケアと医療安全 | 野村 優子 |
| 32 転倒転落予防と医療安全 | 黒川 美知代 |
| 33 せん妄について | 小川 朝生 |
| 34 診療用放射線の安全管理 | 北村 秀秋 |

組織や地域における医療安全の展開～実例を通して～

- | | |
|----------------------------|--------|
| 35 在宅医療と医療安全 | 柏木 聖代 |
| 36 Rapid Response Systemとは | 新井 正康 |
| 37 地域における医療安全の広がり連携 | 田和 菜穂子 |
| 38 患者家族による暴力への対策 | 三木 明子 |
| 39 医療安全のための基本的な医療関連感染対策 | 西岡 みどり |

※調整中の事項を含みます。タイトルや担当講師等について、予告なく変更の可能性がございます。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

お問い合わせ

教育研修事業部 教育研修課

✉ anzenkenshu@jcqhc.or.jp

☎ **03-5217-2373**

受付時間 平日10:00-16:00

URL ▶ <https://jq-edu.jcqhc.or.jp/program/anzenkenshu/>